

## 歴史文化を活かした交流のまちづくり

### 【「ゆめまちテラスえち(旧愛知郡役所)」整備事業】

旧愛知郡役所(町指定文化財)という歴史的建造物を活かしつつ、時代にふさわしい新しい価値を乗せることにより、世代や文化を越えて多くの人々が集うことができる交流拠点の整備をめざすとともに、「ゆめまちテラスえち」が本町を発信する「顔」となるよう平成30年度の開館に向けた準備を進めます。

■予算計上	46,289千円
(うち繰越分)	45,736千円
■財源措置	
一般財源	2,889千円
合併特例債	43,400千円

図 総合政策課(愛知川庁舎) ☎42-7684

### 【「びんてまりの館」企画運営事業】

県伝統的工芸品「愛知川びん細工手まり」とさまざまな手仕事を育んできた本町の歴史文化について、展示等を充実させるとともに、広く情報の発信に努め、文化の薫り高いまちづくりを進めます。



■予算計上	2,790千円
■財源措置	
その他	616千円
一般財源	2,174千円

図 ゆうがくの郷(愛知川図書館) ☎42-4114

### 【「明治150年」関連企画展開催事業】

国が推進する「明治150年」関連施策の記念事業として、郷土の偉人である西澤真藏が明治期に愛知県で取り組んだ「枝下用水」の開削事業について、その事績にせまる特別展を開催するほか、明治から大正という時代を垣間見る刺繍工芸、愛智郡志写真ガラス原板展を開催します。



■予算計上	6,247千円
■財源措置	
その他	653千円
一般財源	5,594千円

図 歴史文化博物館 ☎37-4500

## 町民が輝き活気にあふれるまちづくり

### 【「地域のまるごと活性化プラン」策定推進事業】

地方分権社会では、これまでの画一的な地域のまちづくりから、各地域の個性と特性を活かした自立的・主体的なまちづくりが求められています。

地域の実情や特色に合わせ、各自治会がまちづくりの各分野で主体的に地域づくりを実施できるよう自治意識を高めるとともに、各自治会の地域づくりの指針となる「地域のまるごと活性化プラン」の策定を促し、創意工夫による活発なコミュニティ活動を推進します。

■予算計上	150千円
■財源措置	
一般財源	150千円

図 総合政策課(愛知川庁舎) ☎42-7684

### 【「まちづくり活動支援事業】

活気あふれ魅力あるまちづくりを進めるため、さまざまな分野において活動する団体(町民)が主体的に取り組むまちづくり活動に対し補助金を交付し、ボランティア団体やNPO法人などの育成に努めます。

■予算計上	300千円
■財源措置	
一般財源	300千円

図 総合政策課(愛知川庁舎) ☎42-7684

## 活力あふれるにぎわいのまちづくり

### 【中山道愛知川宿活性化事業】

「中山道愛知川宿街道交流館」を核とした愛知川宿の再生を目的に、観光協会をはじめとする関係機関・団体との連携により、平成30年8月の開館に向けた準備を進めます。さらに、この地域ならではの「伝統と文化」「体験と交流」をテーマとした日常的な交流を生み出す仕組みを構築し、来訪者と地域の人々との活発な交流を生み出す拠点づくりをめざします。



■予算計上	69,588千円
■財源措置	
県支出金	1,000千円
一般財源	68,588千円

図 商工観光課(秦荘庁舎) ☎37-8057

### 【THE 近江・魅力満載プロジェクト(県・市町連携事業)】

各地において、国内外観光客への魅力の提供、地域のアイデンティティにふれることのできる観光のあり方が求められる中、「愛荘ならではの」強みを活かした観光地域づくりを推進し、多くの人に愛荘の地に訪れてもらうことを目的とします。さらに、平成30年度は、「滋賀県大型観光キャンペーン」を契機とする観光素材のさらなる磨き上げや来訪者を迎えるための人材育成を実施し、交流人口の拡大を図ります。



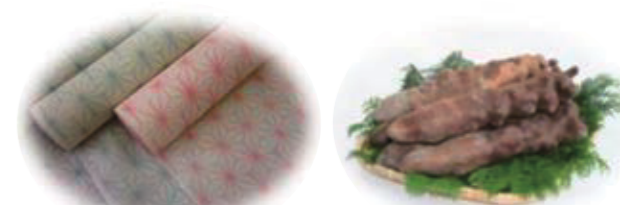
- ・「愛荘町」の認知度向上事業(「ここ滋賀」企画展の開催、首都圏トップセールス、観光コンテンツの開発)
- ・「観光交流」推進の体制づくり事業(観光まちづくりの推進)
- ・「愛荘ならではの」特色あるツーリズム展開事業(AISHOまるごと魅力発信ツアーの実施、まちあるき・観光案内マップの制作)
- ・「情報発信拠点」のにぎわい創出事業(あいしょう観光キャンペーン事業、中山道にぎわい創出事業)

■予算計上	17,457千円
■財源措置	
国庫支出金	8,728千円
一般財源	8,729千円

図 商工観光課(秦荘庁舎) ☎37-8057

### 【滋賀ローカルイノベーションプロジェクト(県・市町連携)】

国伝統工芸品の「近江上布」や町特産品の「秦荘のやまいも」など、地域の豊かな自然や歴史との関わりの中で引き継がれてきた「ものづくり」の技を次代へ継承し、これからの時代を切り拓く「新しい価値」を創造、発信することで、本町経済の発展や雇用の維持・拡大、地域の活性化につなげることを目的とします。



- ・「近江上布」魅力再発見・創出事業(地域ブランド「Aishoasaco, Aishoasamalu」企画・製作)
- ・「秦荘のやまいも」ブランド力強化・発信事業(秦荘のやまいものオーナー制度、新商品の販売促進)

■予算計上	12,191千円
■財源措置	
国庫支出金	6,095千円
一般財源	6,096千円

図 商工観光課(秦荘庁舎) ☎37-8057

農林振興課(秦荘庁舎) ☎37-8051

### 【環境保全型農業直接支払対策事業】

環境保全型農業直接支払制度による滋賀県での取り組み面積は、5年連続で日本一となっており、琵琶湖の保全、世界農業遺産申請にあたっての重要施策として位置づけられています。

平成30年度に交付要件の一部が見直され、農業者の取り組みの減少が懸念されることから、環境こだわり農産物のブランド力向上、安全・安心な農産物を消費者に届けるため、本制度の取り組みを推進します。

■予算計上	17,661千円
■財源措置	
県支出金	13,303千円
一般財源	4,358千円

図 農林振興課(秦荘庁舎) ☎37-8051

### 【農業人材力強化総合支援事業(新規就農支援)】

農業就業者の平均年齢が高齢化する中、世代間のバランスがとれた農業就業構造にするためには、次代を担う農業者の育成が課題となります。新規就農希望者を支援・養成するため、就農の検討・準備段階から就農開始を経て、経営確立するまでの一連の流れを関係機関と連携して総合的に支援します。

■予算計上	1,500千円
■財源措置	
県支出金	1,500千円

図 農林振興課(秦荘庁舎) ☎37-8051